

第6学年 「わたしの町 ○○」(絵に表す) 学習指導案

1 授業構成

目標と表現内容

本題材は、地域の風景の中で自分の気に入っている場所をあらためて見直し、その魅力や美しさを絵に表すことをねらいとしている。

目標

- 地域の心ひかれる風景を絵に表すことに関心をもち、意欲的に表現を楽しむことができる。
- 風景への自分の思いがよく表れるように画面構成や彩色の工夫をすることができる。
- 自分や友達の表現の違いやよさを感じ取り、認め合うことができる。また地域の魅力にさらに気付くことができる。

表現内容

- 何を：地域の中の絵に表したい風景を
- 何で：【主材料】
画用紙・えんぴつ・スケッチペン・はしペン・水彩絵の具道具で

【造形要素】

- ・中心とその周り・彩色の工夫
- ・画面構成の工夫（遠近など）

○どのようにして：

- ・自分が描きたいものを中心にして画面構成を考えながらスケッチをして
- ・水彩絵の具で思いが表れるように彩色を工夫して
- ・自分や友達の表現のよさを感じとりながらさらによりよい表現を工夫して

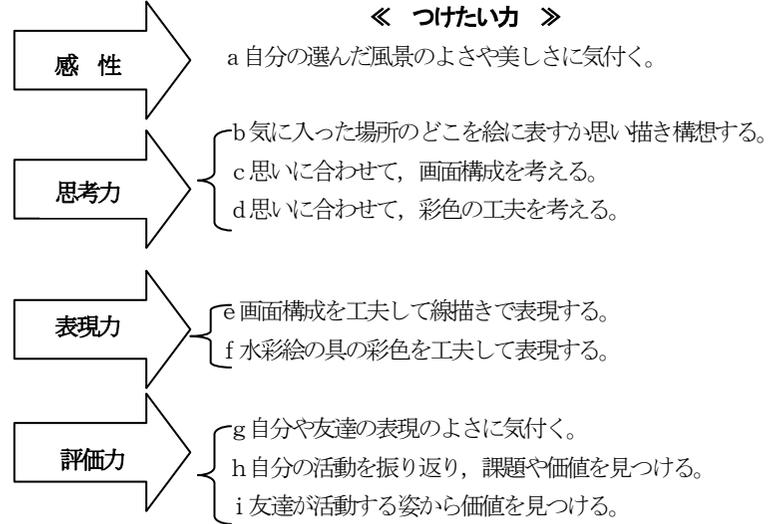
子どもの実態と本題材でつきたい力

本学年の子どもたちは、「わたしは段ボール建築家」(工作に表す)で、自由な発想で組立て方や飾りを工夫しながら、自分なりの段ボールの建物をつくる活動に取り組んだ。その活動で見せた以下の実態から、本題材でつきたい力を次のように考えた。

◀ 子どもの実態 ▶

- ・材料としての段ボールのよさや特徴をとらえ、参考作品から組立て方や飾りの工夫を見つけることができた。
- ・思いに合わせて組立て方や飾り方を選んだり、それらを組み合わせで新たな工夫を思いついたりする姿が見られた。思い通りにいかないときに自分で解決できない子もいた。
- ・試行錯誤しながらも、切断や接合など用具の基本的な使い方を身につけ、粘り強くつくりあげることができた。
- ・活動を振り返り、自分ががんばったことを振り返りノートに書いていたが、価値やついた力についてまで書けている子は少なかった。鑑賞会では友達のよさをみつけることができた。

◀ つきたい力 ▶



4つの力を働かせ、認知する活動や手立て

本題材の指導にあたっては、子どもが上記の力を働かせ認知することができるように、教えることを下記のように明確にし、以下の活動を設定する。また事前に「見取りたい子どもの姿」を設定し、見取り表を用いながら共感的な価値付けを行っていく。

◆ 教えること	㊟ 探求活動	㊞ 交流活動	㊟ 振り返り活動	共感的価値付け
<ul style="list-style-type: none"> ・風景画にふさわしい場所や構図の決め方 ・画面構成の工夫 (遠近、ワイドとアップ) ・彩色の手順や水彩絵の具の使い方 ・彩色の技法 	<ul style="list-style-type: none"> a 地域の風景とのプレゼンによる出会い b 先輩の作品の鑑賞 b c 思いに合わせて構図の取り方 c d 参考作品から思いに合わせて構図や彩色の工夫 e 構図の写真資料 f 彩色の試し・資料コーナー 	<ul style="list-style-type: none"> g h i 表現途中のグループでの交流会 g h i 制作途中の作品展示 g h i 教師による作品の紹介 g h i 完成後の作品鑑賞会 	<ul style="list-style-type: none"> g h 写真を使った振り返り g h i 段階ごとの振り返りノートの活用 (写真・4つの力の観点別自己評価・心メモの記述) 	<ul style="list-style-type: none"> ・見取りたい子どもの姿の設定 ・見取り表の作成 ・言葉掛け ・コメント書き ・聞き取り ・まとめの価値付け

2 指導計画（12時間）

◆教えること ㊟探求活動 ㊠交流活動 ㊡振り返り活動

配時	発想・構想 ①	構想 ②	表現(線描) ③④⑤⑥	表現(彩色) ⑦⑧⑨⑩ (本時7,9/12)
主 な 動	1 「〇〇の町」のプレゼンを見たり、参考作品を鑑賞したりして学習の見通しをもつ。	2 風景画の構図のとり方について話し合い、自分の描きたい場所を考える。	3 描く風景を決め、線描きをする。 (校外)	4 思いが表れるように彩色する。
見 取 り ど た も い の 姿 の 例	・〇〇校区の風景の美しさを感じ取り、描こうという意欲をもつ。 ・参考作品を鑑賞しながら、構図や彩色のよさに気付く。	・資料から風景画の画面構成の要素に気付く。 ・描きたい場所を選び、そのわけについて、自分の表したい思いをもつ。	・自分の描きたい思いに合わせて風景を選ぶ。 ・思いが表れるように構図を工夫して線描きをする。	・資料を見て、彩色の見通しをもつ。 ・資料や教師の演示、参考作品から彩色の工夫に気付く。 ・様々な彩色の工夫を、自分の思いに合わせて作品に取り入れる。 ・自分や友達の作品や活動のよさに気付く。
か せ る を 認 手 働 か す か す	㊟〇〇の町のプレゼンテーション (資料提示) ㊠参考作品 ㊡鑑賞カード	◆風景画にふさわしい場所や構図の決め方 (資料提示) ㊢構図の資料 ㊣振り返りノート	㊤振り返りノート	◆彩色の手順や水彩絵の具の使い方 ◆彩色の技法(モデル演示・資料提示) ㊦参考作品 ㊧彩色方法の資料 ㊨色見本 ㊩いぬカード ㊣振り返りノート
学 習 活 動 と 内 容 (〇)	(1) 〇〇の町の風景やスケッチの仕方を紹介するプレゼンを見る。 ○プレゼンを見て、風景画を描くことに意欲をもつこと (感) ○風景画の学習やスケッチの仕方について見通しをもつこと (感) (2) 先輩の作品を鑑賞し、気付いたよさを鑑賞カードに書く。 ○参考作品の構図や彩色のよさに気付くこと (感)	(1) 風景画の構図について話し合う。 ○写真資料や参考作品の画面構成から奥行きや遠近、ワイドやアップなどを見取り、そのよさについて考えること (感・思) (2) 自分の描きたい場所を決める。 ○〇〇山(〇〇神社)のどの場所を描きたいか、自分の表したい思いをもとに考えること (思) (3) 自分の活動を振り返る。 ○自分のよさや課題に気付くこと (評)	(1) 自分の思いに合った風景を選び、構図を考える。 ○思いに合わせて構図を工夫すること (思・表) (2) 構図を工夫しながらスケッチをする。 ○線描きの仕方を工夫して描くこと (思・表) (3) 自分の活動を振り返る。 ○自分のよさや課題に気付くこと (評)	(1) 資料をもとに話し合い、彩色の見通しをもつ。 ○資料をもとに彩色について話し合い、彩色の見通しをもつ。 (思) (2) 全体の配色を考えながら彩色をする。 ○思いに合わせた色をつくりながら彩色すること。 (思・表) ○資料コーナーや参考作品を参考にして彩色すること。 (思・表) (3) 雰囲気や表したい思いが表れるように色やつけ方を工夫する。 ○ヒント資料や教師の演示から彩色の工夫に気付くこと (感) ○資料コーナーや参考作品をもとに彩色(筆使い・重色)を工夫すること (思・表) (4) 自分の活動を振り返る。 ○自分のよさや課題に気付くこと (評)

配時	鑑賞 ①②
主 話 な 動	5 学年やクラスで作品鑑賞会をする。
見 取 り ど た も い の 姿 の 例	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の取り組みや作品のよさを紹介する。 ・友達の作品のよさに気づき、伝える。 ・自分の成長に気付く。
か せ る を 認 手 働 効 か す て	<p>◆鑑賞会の手順、作品を鑑賞する視点</p> <p>⊗鑑賞カード</p> <p>⊗振り返りノート</p>
学 習 活 動 と 内 容 (○)	<p>(1) 学年展覧会を行い、学年の友達の作品を鑑賞して、作品のよさを味わう。 ○構図や彩色のよさに気付くこと(感・評)</p> <p>(2) 鑑賞カードを書く。 ○作品のよさを友達に伝えたり、聞いたりすること (評)</p> <p>(3) 自分の活動を振り返る。 ○自分のがんばりや成長に気付くこと (評)</p>



6 展開

3 本時目標

- 5色の絵の具の混色で、自分の思いに合った色をつることができる。
- 思いに合った色で、全体の調子が表れるように彩色することができる

4 授業仮説

以下の活動を設定し共感的な価値付けを行えば、混色による色づくりの工夫を自分の作品に生かし、全体の色の調子を考えながら、自分の思いを色で表していくことができるであろう。

- ㊦筆使い、水加減などの効果が分かる資料の提示
- ㊦つくりたい色の参考になる混色見本の提示
- ㊦表したい色を試す活動の場の設定
- ㊦見取り表による個に応じた言葉掛けや支援
- ㊦子どもたちの相互交流の場の設定
- ㊦相互交流による振り返り活動の場の設定

5 準備

- 子ども…自分の作品、水彩絵の道具
振り返りノート
- 教師…筆使いや水加減、混色の効果分かる資料、彩色表、参考作品 見取り表 色を試す画用紙

主な学習活動と内容 (○)	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 前時までの活動を振り返り、本時のめあてをもつ。 ○資料を見て、本時の活動の見通しをもつこと (思)</p> <p>○5色の混色で、いろいろな色がつくれることに気付くこと (表)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の思いに合った色をつくり、全体の調子を考えながら下ぬりをしよう。</p> </div> <p>2 自分の思いに合った色をつくり、全体の調子を考えながら下ぬりをする。 ○どのような混色をすれば、自分の思いに合った色になるか考えること (思)</p> <p>○つくった色を試しながら彩色すること (思・表)</p> <p>○全体の色の調子を考えながら彩色すること (表)</p> <p>3 本時の活動を振り返り、次時の活動への見通しをもつ。 (1) 振り返りノートを書き、グループで話し合う。 ○本時の活動を振り返り、自分や友達のよさを認め、伝え合うこと (感・評)</p> <p>○自分のよさと課題が分かり、次はこうしようと見通しをもつこと (思・評)</p> <p>(2) 本時の気付きや学びを確かめる。 ○学んだことや働かせた力を認知すること (評)</p>	<p>㊦スケッチの時に撮った写真を見て、○○神社の様子や色を思い出させる。</p> <p>㊦混色の方法が分かる資料を提示する。</p> <p>◆混色の方法や水加減の仕方</p> <p>㊦資料をもとに、思いに合った色づくりの工夫をさせる。</p> <p>㊦問題解決に行き詰まっている子どもには、助言や演示をする。</p> <p>㊦見取り表を参考にして、力を発揮している子どもに言葉掛けを行う。</p> <p>㊦少人数のグループで相互交流を行い、お互いのよさを伝え合わせる。</p> <p>㊦それぞれのつくった色や、全体の調子のよさに気付かせる。</p> <p>㊦次の活動へつながるような助言をする。</p> <p>◆全体の調子を考えて彩色すると思いに合った絵に表すことができること</p>	<p>・神社の色、鳥居の色などが複雑な色味をもっていることに気付く。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>鳥居は、ただの灰色じゃないね。どうしたら、あの色がつくれるかな。</p> </div> <p>・5色の絵の具でいろいろな色がつくれることに気付く。</p> <p>・自分の思いに合った色をつくるためにはどの色を混ぜればよいか考える。</p> <p>・できた色が思いに合っているかどうか試している。</p> <p>・全体の色の調子をどんな感じにしたのか考える。</p> <p>・進んで話し合いに参加している。</p> <p>・気付いた友達のよさを相手に伝える。</p> <p>・自分のよさと課題に気付く。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>鳥居の色が思い通りにできたよ。次は濃いところや薄いところをつけよう。</p> </div>

6 展開

3 本時目標

- 自分が描きたいもののもつ雰囲気がよく表れるように、色のつけ方を工夫しながら彩色することができる。
- 自分の活動を振り返り、表現のよさや課題に気付くことができる。

4 授業仮説

- 以下の活動を設定し、共感的価値付けを行えば、混色や重色、筆使いといった彩色の工夫を自分の作品に生かし、自分の表したい思いを色で表現することができるであろう。
- ㊦筆使いや水加減、混色、重色などの効果が見える資料の提示
 - ㊦表したい思いに合わせた彩色方法や技法を試す活動の場の設定
 - ㊦課題解決のための彩色方法や技法の資料コーナー
 - ㊦参考作品(先輩の作品)コーナー
 - ㊦㊦相互交流による振り返り活動の設定

5 準備

- 子ども…自分の作品、水彩絵の具
振り返りノート
- 教師…筆使いや水加減、混色、重色などの効果が見える資料、彩色表、参考作品、見取り表、いしねカード
色を試す画用紙

主な学習活動と内容 (○)	力を働かせ認知する活動と手立て及び教えること (◆)	見取りたい子どもの姿の例
<p>1 前時までの活動を振り返り、本時のめあてをもつ。</p> <p>○前時までの活動を振り返り、めあてをもとに本時の活動の見直しをもつこと (思)</p> <p>○彩色方法や技法によって、画面にまとまりや変化が出ることに気付くこと (感・思)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>自分が描きたいもののもつ雰囲気がよく表れるように色のつくり方やつけ方を工夫しながら絵に表そう。</p> </div>	<p>㊦前時までの活動を振り返ることのできる資料を提示する。</p> <p>㊦彩色方法や技法による効果についての資料を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重色をすることで、作品に深みが出ること ・光と影を意識することで、立体感が出ること <p>㊦自分の思いに合った彩色ができるよう、参考作品の提示や彩色方法や技法についての資料コーナーを設置する。</p> <p>㊦自分の作品を見つめ、よさや改善点を見いだすためにイーゼルを準備する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてから活動の見直しをもつ。 ・重色をして影を表している。 ・点描で石畳を表している。 ・表したい思いがより表れるような彩色方法や筆使いの技法を考える。 ・彩色方法や技法を試しながら彩色する。 ・自分の課題を見つけ、意欲的に課題解決に向けて努力している。
<p>2 自分の表したい思いがよく表れるように彩色する。</p> <p>○自分の作品をみつめ、思いがよく表れるためにはどんな彩色方法や技法を取り入れるか考えること (思)</p> <p>○試しながら彩色すること (思・表)</p>	<p>㊦㊦自分の作品を見つめ、よさや改善点を見いだすためにイーゼルを準備する。</p> <p>㊦㊦班で自分が今日がんばったことを発表し合う場を設ける。</p> <p>㊦いしねカードに友達のよさを書いて渡すよう促す。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>光の明るい色と影の暗い色を入れて立体的にしよう！</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫したことやうまくいかなかったことなどを班で出し合う。 ・自分のがんばりや工夫を発表している。 ・友達の作品のよさを見つけている。
<p>3 本時の活動を振り返り、次時の活動への見直しをもつ。</p> <p>(1) いしねカードを書いて交換する。</p> <p>○班で本時の活動を振り返り、自分が工夫したことやがんばったこと、友達のよさを伝え合うこと (感・評)</p> <p>(2) 本時の気付きや学びを確かめる。</p> <p>○学んだことや働かせたい力を認知すること(評)</p>	<p>◆重色や筆使いを工夫すると立体感や質感が表せること</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>僕は鳥居に暗い色で影を入れるのをがんばりました。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>〇〇さんの神社は重色で深みが出て立体的になったね。</p> </div>